

■伊良波尹吉 沖縄芝居の二枚目として活躍しながら、無学のため口述で、沖縄歌劇のヒット作品を次々と創作した。

いらばいんきち

帝国大学始・1886＝ 沖縄県与那原の農家に生まれ、

帝国憲法発布1889＝ 3歳：

日清戦争始・1894＝ 8歳：

日清戦争終・1895＝ 9歳：

幼時から三線の早引きを得意とし、

ピアノ国産化・1900＝14歳：宮城能造の父、宮城能克に見いだされて首里の寒水川芝居に入ったが、球陽座に移る。

まもなく創作に才能を発揮し、二枚目として活躍するかたわら、無学だったため口述で沖縄歌劇を創作、

日露戦争始・1904＝18歳：

日露戦争終・1905＝19歳：

韓国併合・・・1910＝24歳：中座を組織、

明治天皇没・1912＝26歳：*沖縄座で踊り(歌劇)「薬師堂」を上演、この成功が彼の劇団での地位を不動のものにした。彼は観客の嗜好を見て取るのに敏で、市井の事件や話題をすばやく自作に取り入れ、次々とヒット作品を上演。

大正政変・・・1913＝27歳：

第一次大戦始1914＝28歳：*歌劇「奥山の牡丹」を作り、大当たりを取り、中座のドル箱として重きをなす。

明治末から大正初めにかけて、「かなよ一天川」「鳩間節」「馬山川」、洋舞の手を取り入れた「南洋千鳥節」などの傑作はじめ、200篇もの作品を残し、

原敬首相暗殺1921＝35歳：

水平社結成・1922＝36歳：

円本時代始・1926＝40歳：鉢嶺喜次・渡嘉敷守良と3人の姓から取って伊渡嶺劇団を組織するが、永続しなかった。

金融恐慌・・・1927＝41歳：

海軍軍縮条約1930＝44歳：*大正劇場によった珊瑚座で山里永吉作「首里城明け渡し」の尚秦王に扮し、美声に加えて良く王に似ていたことから、当たり役となる。

満州事変・・・1931＝45歳：

日中戦争始・1937＝51歳：

大政翼賛会・1940＝54歳：

日米開戦・・・1941＝55歳：

敗戦・・・1945＝59歳：

新憲法公布・1946＝60歳：この年からは*梅劇団の団長として活躍したが、

三大事件・・・1949＝63歳：

朝鮮戦争始・1950＝64歳：

独立回復・・・1951＝65歳：間もなく病没した。